



指扇中だより

～WE LOVE SASHIOGI!～



〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『指中生であることの誇り』

校長 しおみつ よしひさ
汐満 禎久

早いもので、年度の締めくくりの3月を迎えました。まだまだ寒い日が続いていますが、まもなく春の足音も聞こえ始める時季となりました。

1月号でも書かせていただきましたが、「2月は逃げる」、「3月は去る」と昔からよく言われており、時の流れが早く感じ、現実味を帯びている今日この頃です。走馬灯のように時が流れていく時期ではありますが、3年生を送る会（三送会）の準備が着々と進められているところです。3月12日の当日までには、在校生の手によって作成された掲示物も校内に装飾されることでしょうか。3年生もそろそろ「卒業」を意識してくると思います。残り2週間ほどで卒業式を迎えます。指扇中学校で身に付けたこと、仲間との思い出、多くの貴重な体験や様々な人との出会いを財産にして、指中生として誇りを持って、新たな道を歩んでくれることを願っています。卒業式当日は、在校生・教職員で、指扇中学校の校門を出て、「巣立っていく」卒業生を温かく見送りたいと考えています。

3月もまだまだ大きな行事があります。月初めには、1年生が校外学習で浅草や上野に出かけます。班ごとに作成した計画に沿った活動を予定しています。この活動は後の自然の教室や修学旅行に繋がる重要な行事でもあり、赤学年の皆さんの更なる成長が期待できる取組となることでしょうか。2年生では、4日から6日まで、南郷自然の教室が実施されます。準備段階から実行委員会を中心に生徒が主体的に活動しており、その成果が活かされるような取組となることでしょうか。間もなく最上級生となる青学年の皆さんの意気込みが伝わってくる3日間になることを願うとともに、次年度を牽引する新リーダーとして大いに期待しています。あじさい学級の生徒たちもお台場をはじめとする東京都内への校外学習を計画しています。

さて、先日、生徒会長からの発案により、生徒会本部役員による能登半島地震災害支援のための募金活動が行われました。1月30日に生徒会長に活動への思いを尋ねてみたところ、「被災地では苦しい生活をいまだに送っている人々が多くいる」「個人より学校 団体の力でなら募金も多く集まる」との考えから思い立ったとのこと。そして、この募金活動を通して、「生徒会の活動が学校内だけでなく、広い視野でできるようになりたい」「指中生には、被災地に住む人々の生活を思って募金に参加してほしい」という強い願いを聴くことができました。2学期に3年生から「世代交代」をしてまだ数ヶ月ではありますが、被災地の現状を思い、生徒会役員として、自分たちに今やれることは何かを話し合い、考えたことを即実行に移す積極的な姿勢には感動させられました。と同時に、来年度も、よき伝統を引き継ぎ、自信と誇りに満ちた指中生徒会をリードする役員の統率力と機動力溢れる活躍にも注目していくとともに、校長として、できる限りの応援や支援に努力していきたいと思いました。



今年度、様々なところから、本校の生徒を見守り支えてくださいました保護者の皆様や地域の方々に心より感謝申し上げます。令和6年度も引き続き、本校の教育活動に温かいご支援とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

